



地元の海を自分たちの手で美しく
SANYO ホールディングス 塩屋海岸清掃

山陽物産株式会社=北黒田=(武内英治社長)は6月5日、グループ会社の社員を含む70人で塩屋海岸を清掃しました。この清掃は、「本社と工場を構える地元松前の海をきれいに保ちたい」という武内社長の発案で行われたもの。1時間の清掃活動で45ℓのごみ袋15個分のごみを集めた皆さんは、「製造業者として、今後も海の豊かさを守るための活動に取り組んでいきたい」と話していました。

美しい国近川を守りたい
国近川自然保存会「令和3年河川功労者表彰」

国近川自然保存会(木戸三千年会長)は6月1日、日本河川協会から「令和3年河川功労者表彰」を受けました。

この表彰は、国近川の清掃活動を15年以上続ける保存会の、河川愛護活動への貢献が認められたもの。表彰を受け、前会長の矢田さんは、「川をきれいにすることは巡り巡って人間を守ることにつながる」と話し、木戸会長は、「この表彰をPRして、1人でもポイ捨てをやめてくれたらうれしい」とほほ笑んでいました。



①川に入ってごみ拾い ②町長に報告する矢田さん(中)と木戸会長(右)



色鮮やかな花で笑顔に
伊予農高生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の2年生12人は6月10日、授業の一環で役場玄関前の花壇の植え替えを行いました。今回植えられたのは、約300株のポチュラカ。作業を終えた福吉夢未さん=筒井=は、「コロナ禍でなかなか自分たちの育てた花を見てもらえる場がなかったので、この花壇で地域の皆さんに笑顔をお届けられたらうれしい」とほほ笑んでいました。



お米を育てる大変さを学ぶ
岡田小学校で田植え体験

岡田小学校の5年生は6月9日、水口稔章さん=西高柳=指導の下、学校近くの水田で田植えを行いました。

この田植えは、「総合的な学習の時間」の授業として行われたもの。苗をしっかり差し込むよう心掛けたという木曾輝さん=西古泉=は、「自分で植えたのは初めて。土が見えないから難しかった」と話していました。今後は、児童たちが毎朝交代で水の管理をしながら稲の生育を観察し、秋の収穫を目指します。



①水口さんから水の管理を学ぶ ②一列に並んで丁寧に植えていく



Check!
QRコード
←田植えの様子を町公式インスタグラムで公開中!



* 旭日単光章【選挙管理事務功労】
故 藤野 光央 さん ふじの・みつお
元松前町選挙管理委員会委員長 86歳 本村

平成12年、松前町選挙管理委員会委員に就任以降、厳正で公正な選挙の管理執行に尽力。平成16年から28年までの12年間は委員長を務め、町選挙管理委員会の発展に貢献しました。

受章に対し、妻の美智子さんは、「身に余る立派な章を頂いたのも、地域の皆さんのご協力があればこそと感謝しています」と話していました。



* 瑞宝双光章【教育功労】
大野 静雄 さん おおの・しずお
元伊予市立郡中小学校長 70歳 恵久美

昭和48年から小学校教諭として学校教育に携わった後、県教育委員会松山教育事務所教育指導課長を務める。平成16年から県海外教育事情研究会会長、平成20年から伊予市立郡中小学校長、平成22年には伊予地区校長会会長を歴任し、学校教育の推進に尽力しました。

受章に対し、「身に余る光栄。多様な経験、多くの人との出会いや励ましがあつたことに感謝しています」と話していました。

叙勲で本町から3人が受章
春の叙勲

政府が4月29日付けで発表した「令和3年春の叙勲」で、本町から藤野光央さん、大西満美子さん、大野静雄さんがそれぞれ受章しました。

受章者の主な経歴とコメントは次の通りです。



* 瑞宝双光章【看護業務功労】
大西 満美子 さん おおにし・まみこ
元県立中央病院副院長兼看護部長 71歳 北川原

昭和47年から看護師業務に従事。県立北宇和病院で1年、県立新居浜病院で2年看護部長を務めた後、平成17年に県立中央病院の看護部長に就任。平成24年からは県看護協会会長を歴任するなど、卓越した指導力と熱意で後進の育成や県全体の看護水準の向上に貢献しました。

受章に対し、「みんなの助けがあつたからこそ看護部長を務めることができた。ありがたいことです」と話していました。